

# 京都文化博物館 総合展示のご案内

令和7年7月22日  
京都府京都文化博物館

京都文化博物館では、2階総合展示室にて「池大雅展 大雅からのたより」、「今井憲一 幻想とリアルのあい」を開催いたします。また、4階展示室では、このたび新発見された「鳴門中将物語」や大河ドラマで話題の出版物を特別展示する緊急企画を催します！

## ■池大雅 大雅からのたより

京都文化博物館では平成7年から、20年以上にわたり毎年「池大雅展」を開催してきました。その契機は、池大雅美術館から平成6年・25年の2度にわたってすべてのコレクションが京都府へと寄贈されたことにあります。

現在「池大雅美術館コレクション」と呼称しているこれらの品々から、今年度は大雅の書簡を中心にご紹介いたします。とくに、縄手古門前下ルにあった薬屋・赤萬の主人井上泰山と大雅のゆかりを示す資料を展示しています。たとえば泰山の孫がおつかいに出向いた際、当時話題を集めていた白拍子の舞を描いて渡してやったという作品も残されています。大雅のユーモラスな一面を垣間見ていただきたいと思います。

- ・会 期：令和7年7月19日（土）～9月21日（日）
- ・会 場：京都文化博物館2階展示室
- ・主 催：京都府、京都文化博物館



池大雅「慶子老舞踊図」  
池大雅美術館コレクション

## ■今井憲一 幻想とリアルのあい

今井憲一は、1907年、京都市に生まれました。京都市第二高等小学校卒業後、独学で油絵を描き始めた今井の転機となったのは、津田青楓洋画塾での学びです。師・青楓を通して「見ること」の難しさと重要性を知ることから、洋画家・今井の軌跡が始まりました。

津田青楓洋画塾が解散した1933年、今井は、独立美術京都研究所の設立に参加します。研究所の画家仲間と活動し、シュルレアリスムの影響を受ける中で、今井の画風は徐々に幻想的なイメージへと変化していきました。しかしながら、1940年代に入り戦況が悪化する中で、今井の描く世界にも、戦時を生きることの現実が見え隠れするようになります。彼の戦後は、現実社会の幻想性を見つめることから始まりました。

本展では、京都を拠点に活動し続けた洋画家の一人、今井憲一の初期から晩年にいたる作品や関連資料を通して、彼の表現とその時代を振り返ります。

- ・会 期：令和7年7月26日（土）～9月21日（日）
- ・会 場：京都文化博物館2階展示室
- ・主 催：京都府、京都文化博物館



今井憲一《原生林》1938年 京都市美術館蔵

**緊急企画****絵巻 ～華麗なる物語の世界～**

長い画面に絵や詞書などを連続して描いた絵巻は、私たちの絵画や物語の鑑賞方法として古くから珍重されてきました。絵巻には、美術的価値とともに歴史資料としての意味もあります。絵巻に表された人びとの様子、服装や食べ物や調度品、建築や祭礼行事の場面などは、往時の貴重な視覚情報を数多く提供してくれます。

このほど、「鳴門中将物語」と呼ばれる絵巻の写本が当館学芸員の調査によって発見されました。鳴門中将物語は後嵯峨天皇の時代の恋愛物語を題材にしたもので、今回発見された品は江戸時代前期に住吉派の絵師によって制作されたとみられるものです。この展覧会では同資料の発見を記念してその全貌を展示公開させていただきます。

また、「土蜘蛛草紙」「蝦夷風俗図巻」「信西舞楽図」など、京都府が所蔵するさまざまな絵巻物7点も関連資料などと共にご紹介します。また、大河ドラマで話題の蔦屋重三郎関連の資料も展示して、江戸時代の出版事情から物語が生み出される背景もご紹介します。新発見の資料を含めて、絵巻と物語の世界をどうぞ堪能ください。



鳴門中将物語絵巻 江戸時代前期 個人蔵

- ・会 期：令和7年7月25日（金）～8月10日（日） \* ご注意：15日間の短期開催です
- ・会 場：京都文化博物館 4階展示室
- ・主 催：京都府、京都文化博物館

**担当学芸員による報道機関向け展示説明会のご案内**

日 時： 令和7年7月29日（火）13：00～ \* 4階展示室入口にお集まりください  
会 場： 京都文化博物館 2・4階展示室内  
問 合 せ 先： 京都文化博物館広報調整担当係  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉 京都文化博物館内  
Tel/075-222-0835 Mail/office@bunpaku.or.jp

上記日程以外でも、随時取材を受付しております。ご遠慮なくお問合せください。

